

授業 コード	11119	科目名	新聞研究		担当者 大西 昭彦				
		副題	ジャーナリズム論	開講期	前期	単位数	2	DP対応	S1,S2
【授業概要】									
ジャーナリズムについての授業です。「新聞研究」という科目名ですが、新聞というメディアだけにとらわれず、報道やニュースにかかわる知識・理解を深めるためのカリキュラムを組んでいます。社会という「都市」を生きるには、情報という「地図」が必要です。この情報の重要な部分がニュースです。授業では、さまざまなニュースに例をとりながら、社会の動きや報道の仕組みを理解。社会という地図のなかに自分をマッピングできる能力を養います。									
【到達目標】									
1. ニュースが報道される仕組みを説明できる。 2. ニュースと社会との関連性を知り、自分の考えを述べるができる。 3. ニュースを自分の表現に生かすことができる。									
【授業方法・計画】									
毎回配付するレジュメにしたがって、講義形式で授業をおこないます。 多面的な理解をはかるため、図表や映像等をスクリーンに表示します。									
第1回	ガイダンス、導入								
第2回	ジャーナリズムについて 総論								
第3回	現代社会とニュース 1 / 報道機関と社会								
第4回	現代社会とニュース 2 / 事件と報道								
第5回	経済報道 1 / 日本経済の変遷								
第6回	経済報道 2 / 数字から見える社会								
第7回	国際ニュース 1 / 海外ニュースの内容・事情								
第8回	国際ニュース 2 / 通信社という報道機関								
第9回	報道とローカリズム 1								
第10回	報道とローカリズム 2								
第11回	新聞について 1 / 歴史・変遷								
第12回	新聞について 2 / 業界・構造								
第13回	電子メディアとジャーナリズム 1								
第14回	電子メディアとジャーナリズム 2								
【準備学習・復習】									
授業時に興味をもったニュースを報告するための準備(100分) 授業中に配付したレジュメを確認し復習(100分)									
【課題に対するフィードバックの方法】									
授業開始時に、チェックしたニュースを発表し、ディベート形式でニュースのとらえ方を学ぶ。 ミニレポートは、コメントをつけて返却します。									
【受講上のアドバイスおよび注意事項】									
ニュースはむずかしいものではなく、身近な存在です。興味のあるニュースやテーマを見つけて、報道される内容を追いかけてみるとよいでしょう。後期のマスコミ論とは相互補完的要素が強いいため、あわせて受講することで、より理解が深まります。質問等は授業後、またはコメントシートにて受けつけます。									
成績評価方法	ミニレポート(20%)、期末レポート(80%)								
教科書	授業でレジュメを配付、資料はプロジェクターに投影								
参考書	適宜紹介								
SS2304	授業に関連する実務経験				新聞社、メディア制作事務所勤務				